

平成 26 年 1 月 21 日

日本高血圧学会
理事長 堀内 正嗣 様

公益財団法人日本医療機能評価機構
代表理事 理事長 井原 哲夫



International Society for Quality in Health care

第 33 回国際学術総会 2016 年東京開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当機構事業にご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、ご承知の通り、当機構は、1995 年の設立以来、病院機能評価事業をはじめ、医療の質と安全の向上に寄与する種々の事業を遂行しております。それに加えて、このたび、医療の質と安全に関する国際学会である ISQua (イスクワ; International Society for Quality in Health Care) との共催により、当該学会の第 33 回国際学術総会を 2016 年 10 月 16 日 (日)~19 日 (水) に東京国際フォーラムで開催することとなりました。本総会は日本の優れた取り組みを世界各国の医療者と共有するとともに、諸外国における取り組みをわが国に紹介することを通じて、医療の質および安全の向上をさらに支援することを目的としております。

つきましては、同封の資料をご覧いただき、貴会から多数のご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

まずはご案内のみ、書面にて失礼いたします。

敬具

記

- 会議名称：第 33 回 ISQua 国際学術総会
- 日 程：2016 年 10 月 16 日 (日)~19 日 (水)
- 会 場：東京国際フォーラム
- 開催趣旨：わが国の医療制度、および医療の質と安全の向上に関する取り組みを世界各国からの参加者と共有することにより、わが国のみならず世界各国における医療の質と安全の向上に関する継続的な改善活動を支援する
- 参加者 (見込み)：約 70 カ国 1,300 名 (国内 300 名、国外 1000 名)

以 上

ISQua 33rd International Conference

16th-19th October 2016

Tokyo International Forum, Tokyo, JAPAN



International Society for Quality in Health Care 日本開催のご案内



医療の質と安全に関する国際学会として世界をリードする International Society for Quality in Health Care (ISQua) の国際学術総会を2016年10月、日本で開催します。この学術総会には毎年70カ国以上から1200名を超える、医療者、研究者、質・安全のプロフェッショナル、WHOやOECD等国际機関、行政官、保険者、評価組織、病院経営者らが参加し、医療の質と安全の向上に関する最先端の成果を共有しています。みなさまのご参加をお待ちしております。



問合せ先：
公益財団法人日本医療機能評価機構 企画部
電話：03-5217-2335 E-mail：info@jcqhc.or.jp

International Society for Quality in Health Care (ISQua) は、全世界の医療の質を向上させることを目的とする国際学会です。アイルランド・ダブリンに本部があり、約 50 カ国の組織会員、個人会員とアイルランド政府から資金を得て事業を実施しています。世界保健機関 (WHO) の公式関連団体として、WHO に対して技術や政策の面で協力しています。

主な事業は、世界の病院機能評価機関の審査・認定^{アイアップ} (IAP)、医療の質・安全に関する教育プログラム、会員同士のネットワークの促進、年次学術総会の開催です。

IAP

International Accreditation Programme (国際認証) の略で、第三者評価の運営機関を評価する「組織認証」、病院等を第三者評価する際の評価項目を評価する「項目認証」、第三者評価の評価者の養成プログラムを評価する「サーベイヤー研修プログラム認証」の 3 種類の評価プログラムがあります。

医療の質・安全に関する教育プログラム

webinar、ディベート、フォーラム、ケーススタディー等を通じて、参加者に医療の質・安全に関する学習の機会を提供しています。

ネットワークの促進

会員になると、ISQua 発刊のジャーナルを購読できるほか、世界中の他会員と ISQua のプログラムを通じて交流することができます。

国際学術総会の開催

2013 年に 30 回を迎えた学術総会では、世界各国から 1000 人を超える参加者が、医療の質・安全に関するテーマに基づき発表・議論を行います。例年 10 月に全 4 日間の日程で開催されます。

日本医療機能評価機構は 2013 年に IAP の「評価認証」と「組織認証」を取得しました。また、国際学術総会では演台発表やブース出展を行い、国際的なフィールドで医療の質・安全に関する情報の収集と発信を行っています。

ISQua 理事一覧

理事長

Prof. David Bates; Chief, Division of General Internal Medicine and Primary Care, Brigham and Women's Hospital; USA

前理事長

Dr. Tracy Cooper; CEO, Health Information Quality Authority (HIQA); Ireland

次期理事長

Prof Cliff Hughes; CEO, Clinical Excellence Commission; Australia

理事

Dr Janne Lehmann Knudsen; Chief, Quality & Safety, Danish Cancer Society; Denmark

Ms Wendy Nicklin; President and CEO, Accreditation Canada; Canada
Professor René Amalberti; Senior Advisor, The Haute Autorité de santé (HAS), France

Mr John Sweeney; Director, Health Care Informed (HCI); Ireland

Dr Wui-Chiang Lee; Director General, The Bureau of Medical Affairs; Taiwan

Adj. Associate Professor Karen J Linegar; Executive Director, Nursing, Midwifery and Care Redesign at the Tasmanian Health Organisation; Australia

ISQua 国際学術総会は、毎年 10 月に全 4 日間の日程で行われ、世界約 70 ヶ国から約 1300 人の参加者が、医療の質向上に関する専門知識を共有します。

規模

- ・ 100 名を越える専門家の講演
- ・ 250 を超えるプレゼンテーション
- ・ 350 のポスター展示

内容

- ・ 6 つのプレナリーセッション
- ・ 9 つの分科会
- ・ 25 時間のネットワーキングタイム
- ・ ウェルカムレセプション 等

分科会の主なテーマ

- ・ ガバナンスとリーダーシップ
- ・ 医療サービスのパフォーマンスとアウトカムの評価
- ・ 患者安全のシステム
- ・ 患者中心の医療
- ・ 公衆衛生の向上
- ・ 途上国における医療の質と安全
- ・ 医療情報テクノロジー
- ・ 第三者評価と認定制度 等



2014 年はブラジル・リオデジャネイロ、2015 年はカタールのドーハで開催されますが、2016 年には、当機構と ISQua の共催により東京で開催することが決定しています。日本の医療の質の高さや安全に関する優れた取り組みを世界に発信することに加え、世界各国の先進的な取り組みを吸収することにより、さらに医療の質と安全を高めていく場となればと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。

学術総会開催地

- 2008 年 コペンハーゲン
- 2009 年 ダブリン
- 2010 年 パリ
- 2011 年 香港
- 2012 年 ジュネーブ
- 2013 年 エディンバラ
- 2014 年 リオデジャネイロ
- 2015 年 ドーハ

☆2016 年 東京 10 月 16 日～19 日